

### 就学前までの保育料の減額はできないか

緑風会 木下健二



**質問**→津山市は子育て支援策として多くの事業を行っているが、どのような事業に人気が集まっているのか。また、父母の要望はどのようなものか。現在、小学生から高校生までは国の

施策で授業料が無料だが、子育て支援をするならば、乳幼児から就学前の保育園児までの保育料の大幅な減額はできないか。

**答弁**→近年、父母の就労形態を含め、ニーズが多様化している。行政はそのニーズにできるだけ応えられるよう様々な施策を展開している。施策の比較はなかなかできないが、常に市民ニーズの把握に努め事業を進めていきたい。給付とサービスのバランスに考慮し、適正な受益者負担の視点も重視しつつ、保護者負担の軽減についてはこれからの方向でもあり、国の動向、他都市の状況を注視し、保育料のあり方を検討したい。

### 福祉避難所が必要では

新政クラブ 秋久憲司



**質問**→台風時の災害情報メールについて市民に分かりやすい工夫を。防災組織は町内会単位の方が機能的。町内会長などに災害メール受信登録を。

**答弁**→メールは具体的で読みやすく分かりやすい工夫をする。町内会の避難行動の支援を進める。

**質問**→障害者などが避難所で孤立しないよう配慮するために「福祉避難所」の設置が必要ではないか。

**答弁**→県下では四市で設置している。津山市でも公的施設を中心に設置に向けて検討していく。

**質問**→東日本の災害では「災害FM局」が大きな威力を発揮した。津山市も災害時にFM局の活用を。

**答弁**→FMラジオの役割は実証されており、緊急時の情報を伝えるため活用方法を積極的に検討したい。

### 教育行政「教育振興基本計画」とは

津山新星会議 小椋 多



**質問**→基本計画に示す十年先を見通した津山市の目指す教育理念や将来像とはどのようなものか。

**答弁**→現在「検討委員会」にて論議をしているところで、現在のところ具体

的な方向性を示す段階ではない。

**質問**→学力調査の目標値とその目標に到達するための手段は。

**答弁**→数値目標は設置していないが、平均正答率が県平均以上となることを目標としている。

**質問**→学力向上のための対策は。

**答弁**→各学校の特色を活かし、「学習環境を整える」「活力ある学びをつくる」「家庭や地域との連携を図る」を三つの柱に取り組む。「60・15キャンペーン」や「げんぼくんの家庭学習」に取り組み、生活リズムの向上や学習習慣づくりを働きかけていく。

### 中心市街地にシネマコンプレックス設置を

新政クラブ 津本憲一



**質問**→中心市街地活性化基本計画に関して、中心市街地活性化協議会から出されたシネマコンプレックス整備の検討は。

**答弁**→中心市街地活性化協議会では、検

討することで決議。市民アンケートの結果にもあらわれており、当該基本計画の一環として調査研究を行う考え。

**質問**→林業の育成のため、公共建築物に木材利用の義務付け、地域材利用新築住宅補助事業の拡大を図るため、津山市森づくり条例を制定しては。

**答弁**→意義深いものであり検討する必要がある。

**質問**→文化遺産を、個人所有において保存する場合、税の救済措置、また、改築修理費等の補助はあるのか。

**答弁**→国指定は国県市が、県指定は県市が、市指定は市が補助金を交付。修理の設計監理は国の補助制度がある。